主の祈り　(93-5A)

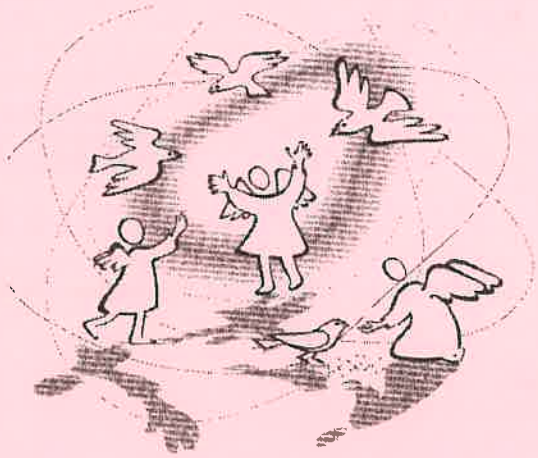
天にします　われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいいだしたまえ
国と　ちからと　さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり　　アーメン

## 石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は，主なる神と出会うイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し，この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は，希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



# 日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854　石巻市大街道北２丁目１２－３
電話／FAX：0225-22-4090
ホームページ：http://tohoku.uccj.jp/i-eikou
メール：i-eikou@tohoku.uccj.jp
振替口座：02280-8-2810
教会創立：1887年9月25日

## 集会案内

| | | |
|---|---|---|
| 聖日礼拝 | 毎週日曜日 | 午前10：30 |
| 早朝礼拝 | 毎週日曜日 | 午前 7：30 |
| 交わりの会 | 毎週日曜日 | 礼拝後 |
| み言葉と祈りの会 | 毎週水曜日 | 午後 7：30 |

2024年度標語　『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2475　　復活節第三主日　　2025年5月11日
礼拝式順序　　午前10時30分

| | |
|---|---|
| 受付<br>司会<br>献金<br>奏楽 | 礼拝当番は<br>礼拝堂に集まった人の中で<br>可能な方に担当いただきます。 |

| | | |
|---|---|---|
| 前　　奏 | | |
| 招きの言葉 | ［47］コリントへの手紙一第15章54b～55節 | 司会者 |
| 讃　美　歌 | 26 | 一　同 |
| 子どもたちへのお話 | | |
| 祈　　り | | 司会者 |
| 聖　　書 | 第二コリント5章17節<br>（新約聖書331ページ） | |
| 讃　美　歌 | 543（1～2節） | 一　同 |
| お　　話 | 「誰でもキリストにあるなら」<br>川上直哉 牧師 | |
| 讃　美　歌 | 543（2～3節） | 一　同 |
| 献　　金 | | 一　同 |
| 報　　告 | | 司会者 |
| 讃　美　歌 | 92（1節） | 一　同 |
| 祝福の祈り | | |
| 後　　奏 | | |

＊当教会では 着席のまま礼拝を守っています。
＊旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。
＊献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。

∞○∞○∞○∞○∞ お知らせ ∞○∞○∞○∞○∞

**本日、礼拝後、聖餐式をいたします。**
**どうぞ、お覚え下さい。**

∞∞∞∞∞ 今週の集会 ∞∞∞∞∞

☆「御言葉と祈りの時」　5月14日(水)19:30～　オンライン併用
☆「荊冠の神学」読書会　5月15日(木)10:00～　オンライン併用

∞∞∞ 次週の予告（5/18）∞∞∞

☆ 復活節第四主日礼拝（お話：川上直哉 牧師）

| | |
|---|---|
| ［聖　書］ | 詩篇98編1節 |
| ［お　話］ | 「新しい歌を」 |
| ［讃美歌］ | 27　290　92　　［招きの言葉］ 24 |
| 受　付 | 礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で<br>可能な方に担当いただきます。 |
| 奏　楽 | |

**次週日曜日、役員会を開催します。**

∞○∞○∞○∞○∞ お知らせ ∞○∞○∞○∞○∞

**✤今後の予定は以下の通りです**

- **5月13日(火)11時～ 宮城北地区牧師会(仙台北教会にて)**
- **5月27～28日(火～水) 日本基督教団東北教区総会**
- **6月8日(日) ペンテコステ**
- **6月15日(日) 10時半からの礼拝を中澤宣教師が担当**

《 先週の集会統計 》

| | | | |
|---|---|---|---|
| 聖日礼拝 | 14人 | み言葉と祈りの会 | 6人 |
| 早朝礼拝 | 3人 | 聖餐式 | 15人 |

| 月定献金 | | 特別献金 |
|---|---|---|
| 齋藤みや子（5月） | | 齋藤みや子（聖餐式感謝・会堂修繕） |
| 席上献金 | ¥21,151 | |

# 週報別冊

## 2025年5月11日号

## 1．教会宛に、以下の通信が届いています。

**【石巻栄光教会関係】**

- **「事業報告書」（栄光まきびと園）**：昨年度の活動報告を頂きました。この作成のために、と思います。夜遅くまで、幾日も、事務所の灯がついていました。日々、本当に素晴らしいお働きを続けて下さっていることに、感謝を深めています。

**【日本基督教団・東北教区関係】**

- **「総会資料」（日本基督教団東北教区）**：５月２７～２８日にエマオで行われる教区総会の資料を頂きました。

**【その他教会・団体関係】**

- **「SINAPIS」（カトリック大阪高松大司教区社会活動センター）**：「3月１８日から２００回の爆撃がありました。避難先のハーン・ユヌスやアル・マワシも空爆され、最後に残ったアル・アハリ病院も爆撃され、無差別（意図的な住民）殺戮が繰り返されて毎日５０人以上の人が殺され続けています。３３回の空爆で殺されたのは女性と子どもでした」と、最近のガザの様子を報告する「ガザの人たちの受難はおわっていません！」（シナピス運営委員 西口信幸さん）等が掲載されています。

## 2．牧師動静

５月５日（月）

午前中、お客様をお迎えして接遇し、午後、裏屋敷にある「石巻希望の家」の牧師就任式に出席しました。

５月６日（火）

教会で執務しました。

５月７日（水）

日中、教会で執務し、夜、祈祷会を主宰しました。

５月８日（木）

午前中、一件の訪問をして「荊冠の神学」読書会と聖餐式を行い、午後、休暇を頂きました。

５月９日（金）

日中、仙台川平教会で宮地北地区婦人会総会に出席し、夕方、ワイズメンズクラブの会議に出席しました。

５月１０日（土）

エッサイの木（仙台キリスト教書店）の応援で、福島へ出張しました。

- 本日、栄光幼稚園の「ファミリー文庫」の本を活用した「川辺の文庫」が開始されます。今日の様子は、５月 17 日（金）午後６時 15 分からの東北放送「N スタみやぎ」で、およそ６時半ころに、番組として放送される予定です。

- 先週土曜日、「エッサイの木」（仙台キリスト教書店）の福島市での定期出張販売が日本バプテスト連盟福島主のあしあとキリスト教会で開始されることになり、その開始イベントで、日本基督教団仙台北三番丁教会・日本基督教団名取教会・単立「石巻祈りの家」・日本バプテスト連盟郡山コスモス通り教会・日本ホーリネス教団福島教会の皆様と喜びを分かち合いました。先週金曜日は、お昼に日本基督教団仙台川平教会で石巻山城町教会の小松牧師夫妻を歓迎する婦人会総会がありました。また、その日の夕方には、石巻栄光教会園舎２階でワイズメンズクラブの全国大会の準備のための会議が開かれ、仙台と北海道から委員がお越しになり、キリスト教主義の活動のための会議が開かれました。また、先週月曜日の午後、裏屋敷にある日本ルーテル同胞教団「石巻希望の家」の伊藤治哉先生の牧師就任式が行われ、水明町にある単立「石巻祈りの家」の阿部一さんと一緒に、川上牧師が出席しました。その日の午前中は、緑町にある日本アライアンス・ミッションの「石巻ニュー

ライフセンター」のアラン・クロップ宣教師と共に、埼玉の千間台キリスト教会の皆様が石巻栄光教会を訪問下さり、共に聖餐式と愛餐会を持ちました。「毎年 3000 人の人口減少の中にある石巻ですが、神様の国は縮んでいません」と、互いに語り合い、喜んだことでした。

５月１２日（月）
日中、教会で執務します。夜、「雅歌」読書会をオンラインで主宰します。

５月１３日（火）
日中、仙台北教会で、牧師会に出席しています。

５月１４日（水）
日中、福島ＹＭＣＡ・ワイズメンズクラブ設立のために、福島市で会議をしています。

５月１５日（木）
午前中、一件の訪問をして「荊冠の神学」読書会と聖餐式を行い、午後、休暇を頂き、夕方、オンラインでの勉強会に参加します。

５月１６日（金）
日中、休暇を頂き、夜、宇都宮でワイズメンズクラブの会合に出席します。

５月１７日（土）
午前中、エマオで「侍」読書会を主宰し、午後、仙台のオタワ愛徳修道女会で行われる「すすきだ音楽隊」の催事に参加しています。

**※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。日程を調整して、ぜひお目にかかりたく存じます。**

教皇フランシスコは、亡くなる直前までガザの人たちを気遣い、声を出し続けておられました。『ガザから非常に深刻で痛ましいニュースが届き続けています。非武装の民間人が爆撃や銃撃の被害に遭っています。これはテロです。**民間人の犠牲者は『巻き添え被害』ではありません。**
彼らは、名字や姓を持つ男女であり、命を落としたのです。彼らは孤児となり、未来を奪われた子どもたちです。彼らは飢え、渇き、寒さに苦しみ、あるいは爆発物の威力によって身体を切断された人々です。私たちが彼ら一人一人の目を見て、名前を呼び、彼らについて少しでも知ることができれば、戦争の本質がわかるでしょう。この地球上のすべての人々の尊厳を冒涜する、計り知れない悲劇、**「無益な虐殺」**に他なりません。』